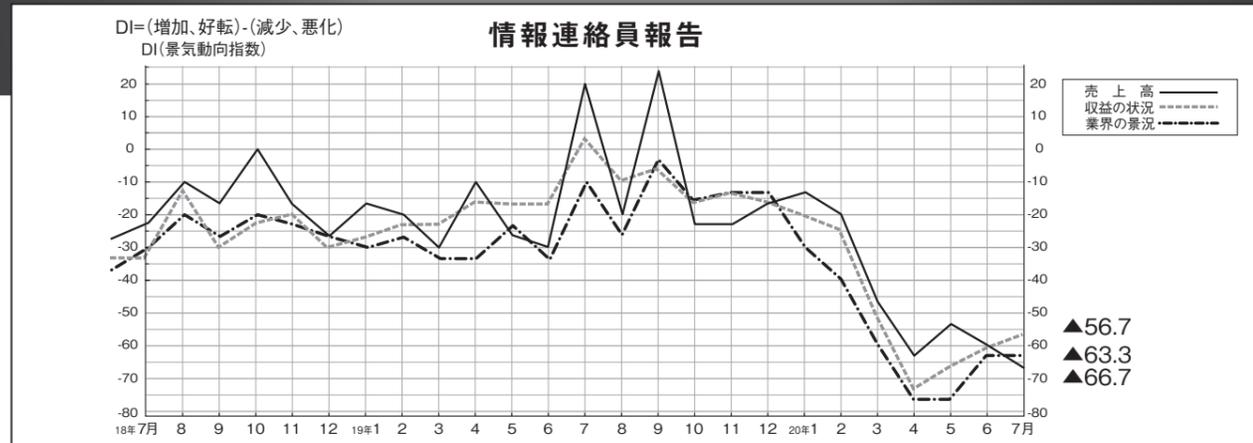


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年7月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>7月度商況は、コロナの影響で低調であった。県外市況はやや好転し、出荷量は増加傾向にあるが、昨年並みには戻っていない。特に外食産業向け食材が低調。また、観光関連のお土産品の販売も低調。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>需要に地域的偏在がある。</p>
<p>酒類製造</p> <p>やや回復基調にあるが、今後の状況となるとまだまだ予測不能である。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比99%。前年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていたが、6月分は前年度並みに低下した。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。現在の状況はまだ続くと思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の生産縮小による受注減で業況が悪化する企業がある一方で、受注案件が順調に進捗したことで収益を伸ばす企業などがあり、団地内の業況にはバラツキがある。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>材価の下落、受け入れ量の縮小等により少なからず影響がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>特に変化はなし。小売店等の受注数は若干減少しているが、ネット関係の得意先より受注は増加し、全体としてはあまり変化はない。</p>
<p>製材</p> <p>需要の停滞の上に長期梅雨のため全般に低調であった。この状態はしばらく尾を引きそう。</p>	<p>船舶製造</p> <p>生産活動は順調に推移しているが、新型コロナの影響にて営業活動が停滞している。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>県内家庭紙企業は、注引量が激減し、厳しい状況となっている。外出する機会が少なくなり、コンビニでのポケットティッシュ等の売れ行きが悪く、全般的に需要が落ちている。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>新型コロナウイルスの影響は依然として大きい。7月の製品会取引額は前年同月比71%と、3~6月と比べるとやや回復傾向となった。</p>
<p>印刷</p> <p>官公需は郡部に於いて地域振興券等の特需もあるが全体では減。県内民需も先月に引き続き低迷。特に県外需要は7~8月のビッグイベントが中止の影響で最悪状態。7月も大幅に前年を下回った。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.夏休み期間のイベント中止などは、観光・外食産業にとって大きなマイナス要素。また、Go Toトラベルキャンペーンから東京が除外されたのもマイナス要素。2.長雨の影響で、水産業界は不調。</p>

<p>青果卸売</p> <p>小売(量販店)が好調。また、販売価格の上昇のため、若干の上向きであるが二次感染が心配である！業務(ホテル、飲食)系はまだ不調。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>市の補助を受け、六商店街で使える「商店街応援商品券」を販売開始した。飲食店限定券とどんな店でも使える共通券を作り、居酒屋、レストラン、スナック、バーなどの応援ができるようにしている。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>天候不順のため、全体的に入荷が少なかった。マグロも少なかったが、高値で推移し、順調に入荷があった。ホテル旅館等への売れ行きはまだ伸びていない。結婚式もない状態が続いている。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>コロナによる自粛と他県への移動制限が緩和されたことで、観光・出張の若干の回復はあるが、厳しい状況である。会議、宴会等集客する部門の回復の見込みが立たない。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>飲食業が特にコロナの影響を受けているが、他の業種の店への影響もかなり大きく厳しい。</p>	<p>飲食店</p> <p>コロナ後の新しい営業スタイルに対応する為の時間や予算は貴重で必需、新しいアイデアも必要。手間や金銭的負担を軽減できるような、事業者に寄り添った積極的な支援を行政に希望する。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>月末にサウジ調整金の大幅値上がりがあり8月早々には市況の変動がある見込み。落ち着きかけたコロナウイルスは再び感染者が増えており、戻りかけた販売数量の低下が懸念される。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同月対比18%、全旅クーポンを加味して16%。Go Toトラベル事業は開始されたが、全国的な感染拡大傾向が続いており、旅行需要は依然として回復の見通しがたかない。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>エアコン前年比で106%で好調。空気清浄機125%。冷蔵庫102%、クリーナー101%、全体で104%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和2年7月分の公共用生コン出荷量は、前年同月比78.7%。公共工事請負金額は前年同月比で86.5%、災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事など大型工事は継続している。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>市場相場が上昇傾向にあるため、一段と仕入れが厳しくなっているが、注文件数は徐々に増えている。今後、車両確保に苦戦を強いられると思われる。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線の工事量は、100.3%とほぼ同様となった。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>コロナによる影響が長期間に渡り、商店街へのダメージは大きい。新しい生活様式に対応しながら、どのようにして顧客の増加を目指すか模索している。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>新型コロナの影響による物量が元に戻ったとは言えず、二波ともいえる感染拡大の影響を懸念している。更に燃料価格が上昇しており経営を圧迫している。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比80.5% 台数:84.9%。例年なら土曜夜市、よさこい祭り賑やかな時期だが、イベントの自粛で中心街に人を呼び込む手段がなく、特に夕方以降の人出が寂しい。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比 実働率は66.1%。少しずつ戻りつつあるようだが、夜間はまだまだといった感触。感染者が出るたびに客足が減ると、運転者も高齢者のため休んでしまう傾向があるので心配。</p>

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 **GK**

7/24の保険 住まいの保険 けがの保険

www.ms-ins.com